



TOYOTA BOSHOKU

東証1部 証券コード 3116

2020年度（2021年3月期）

第3四半期 決算説明会

開催日：2021年2月2日

目次

- 1. 2020年度第3四半期 決算状況**
- 2. 2020年度通期 業績予想**
- 3. 参考情報**

目次

1. 2020年度第3四半期 決算状況

2. 2020年度通期 業績予想

3. 参考情報

1-1) 2020年度第3四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	19年度 第3四半期実績		20年度 第3四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	10,581	100.0%	9,236	100.0%	△1,344	△12.7%
営業利益	399	3.8%	338	3.7%	△60	△15.2%
税引前利益	409	3.9%	333	3.6%	△76	△18.6%
当期利益*	175	1.7%	124	1.3%	△51	△29.1%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益	94円25銭	66円73銭	△27円52銭	
為替レート	USドル	109円	106円	△3円
	1-0	121円	122円	+1円

売上収益

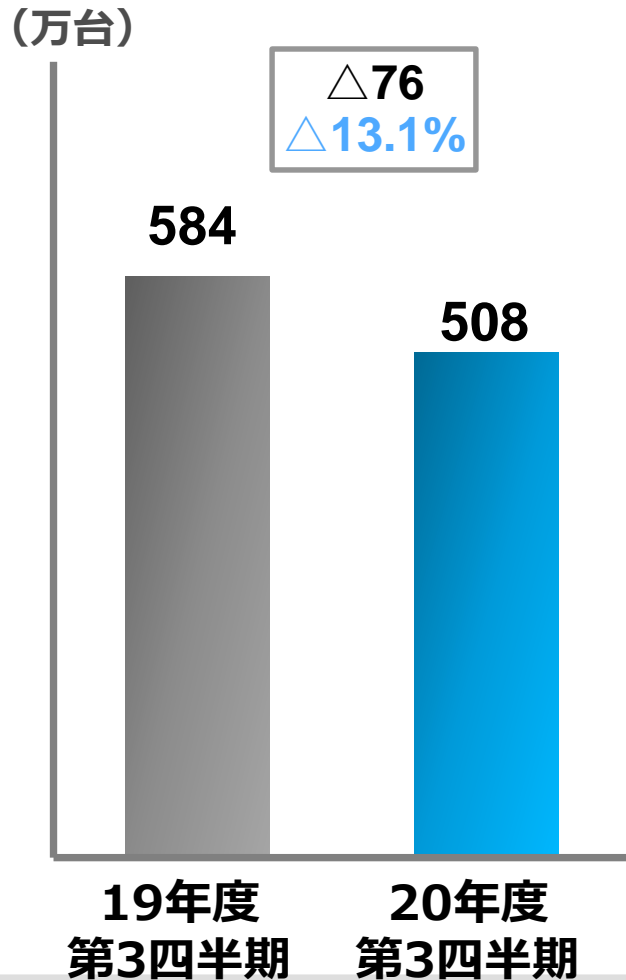
- 主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減収の一方、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

営業利益

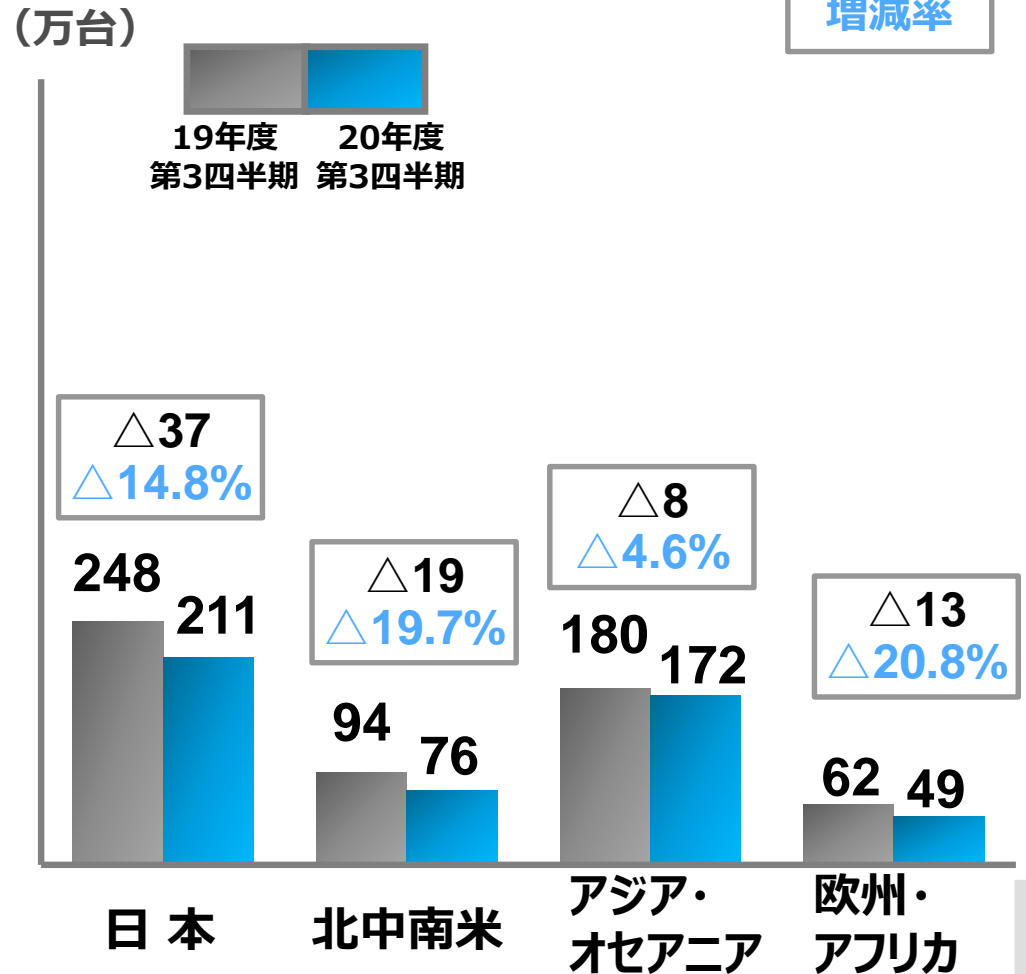
- グローバルでの需要回復に加え諸経費効率化等の収益確保策により10-12月累計では前年同期比で増益

1-2) 2020年度第3四半期 決算状況 地域別シート生産台数

連結全体



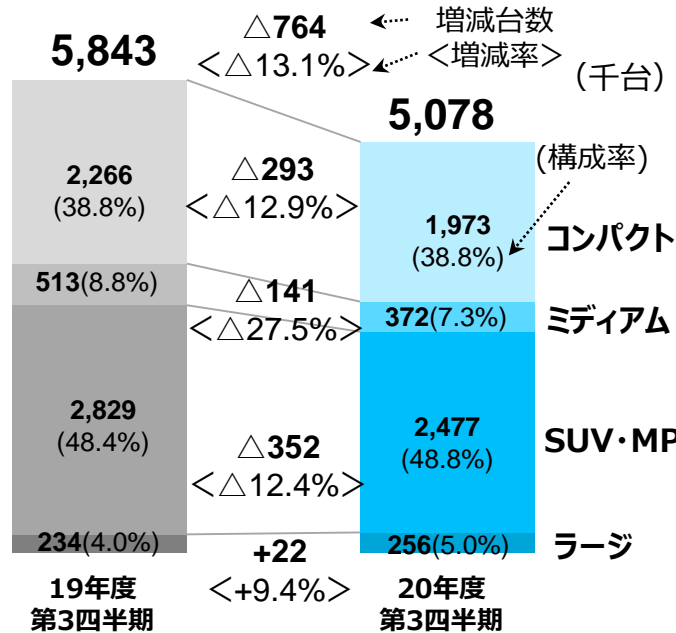
セグメント別



1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

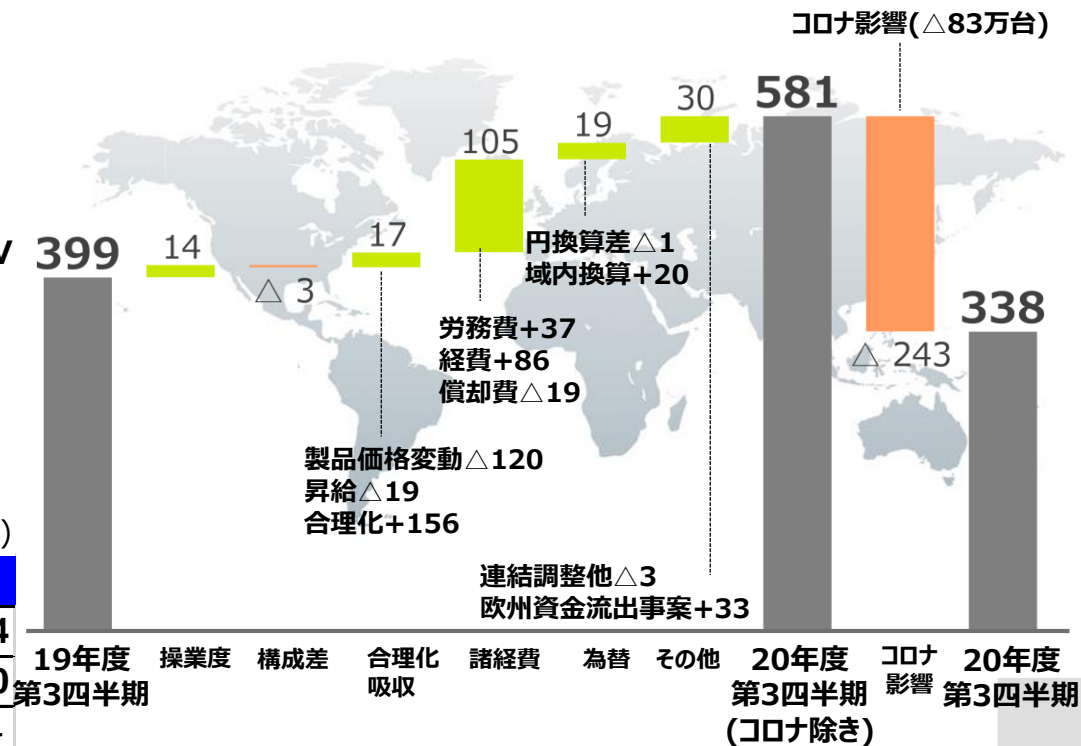
主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施しコロナ除きでは増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



当期の経営成績

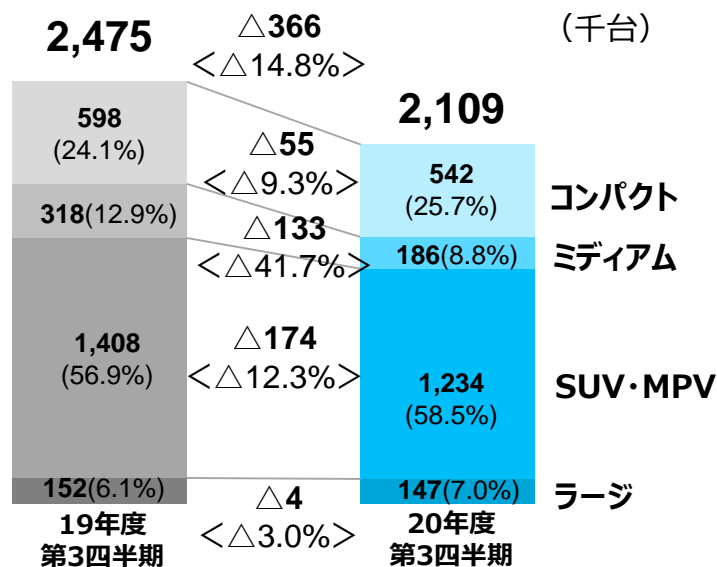
(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	10,581	9,236	△ 1,344
営業利益	399	338	△ 60
営業利益率	3.8%	3.7%	-

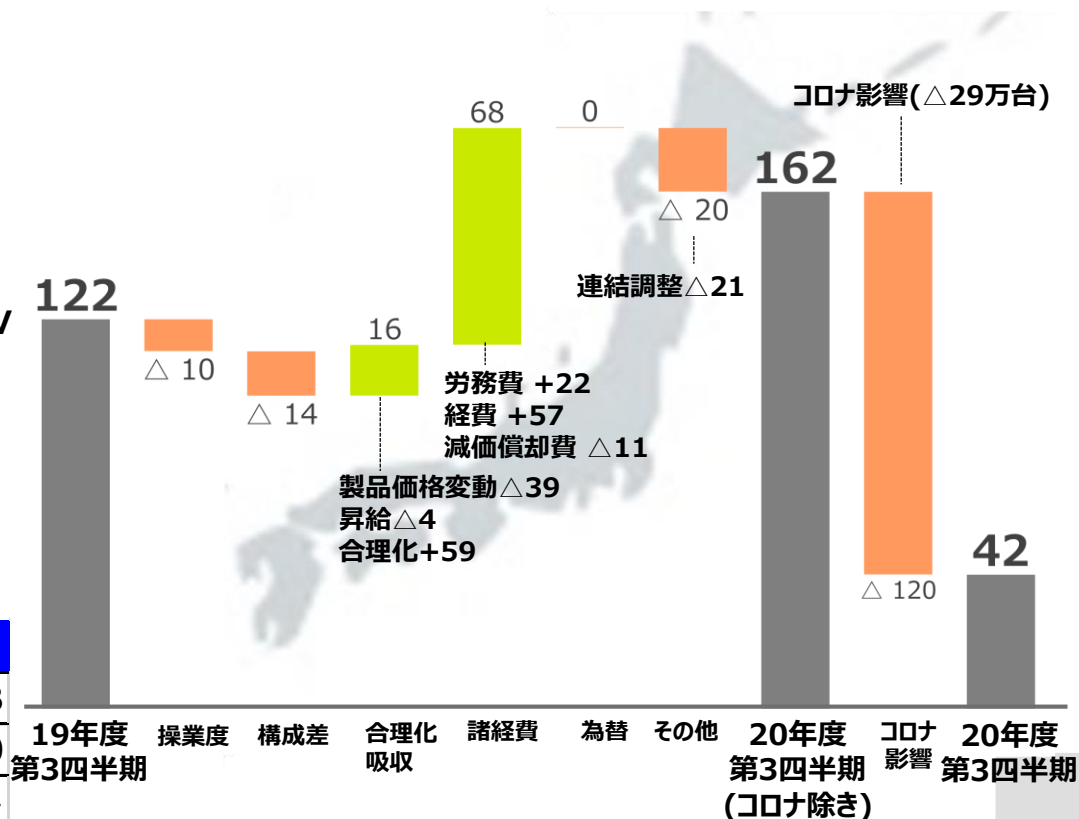
1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減などの諸経費の効率化によりコロナ除きでは増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



当期の経営成績

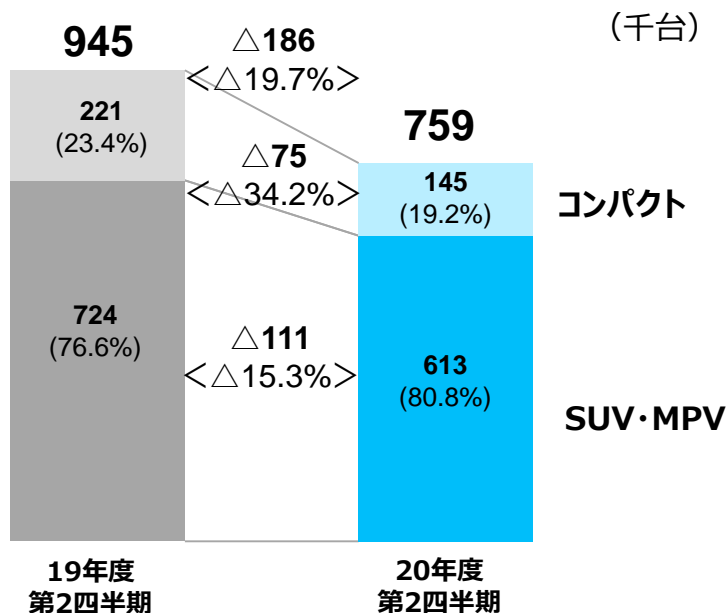
(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	5,826	5,113	△713
営業利益	122	42	△79
営業利益率	2.1%	0.8%	-

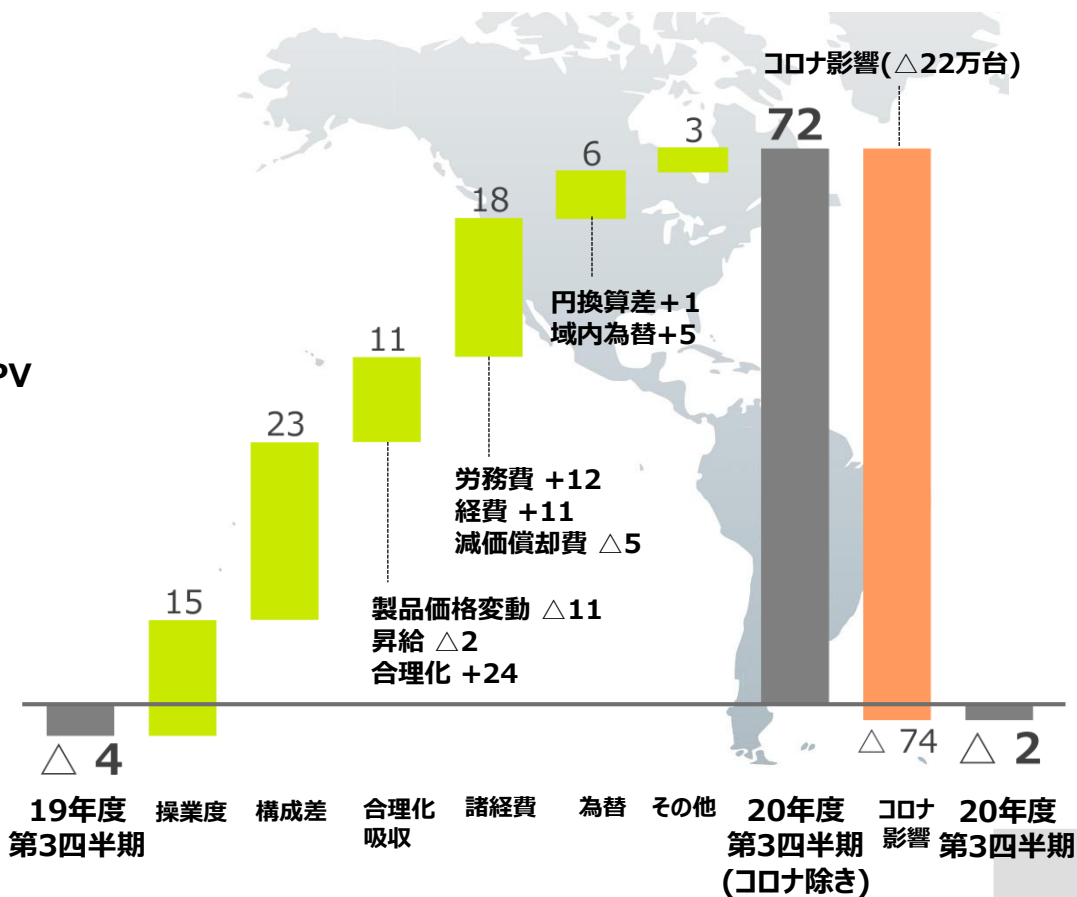
1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

北米での新製品効果や諸経費の効率化などにより、コロナ除きでは着実に収益回復

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



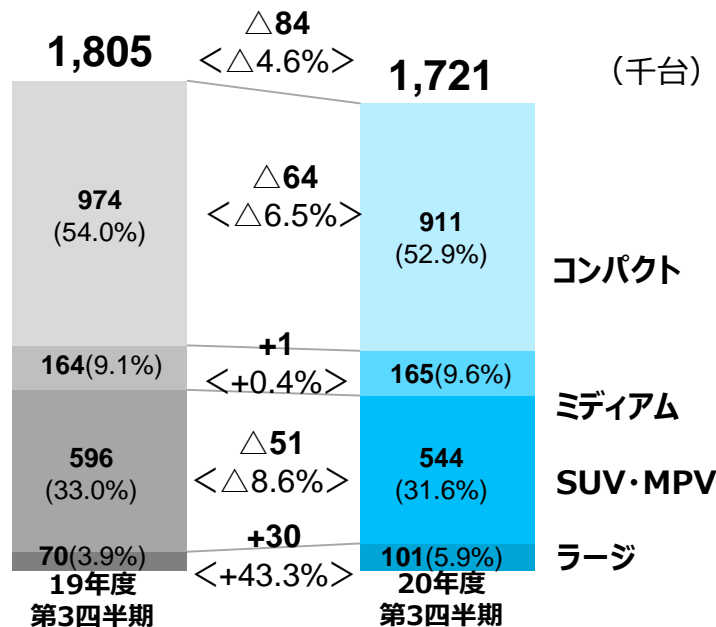
当期の経営成績

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	2,104	1,742	△362
営業利益	△4	△2	1
営業利益率	△0.2%	△0.2%	-

1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 アジア・セアニア 売上収益・営業利益

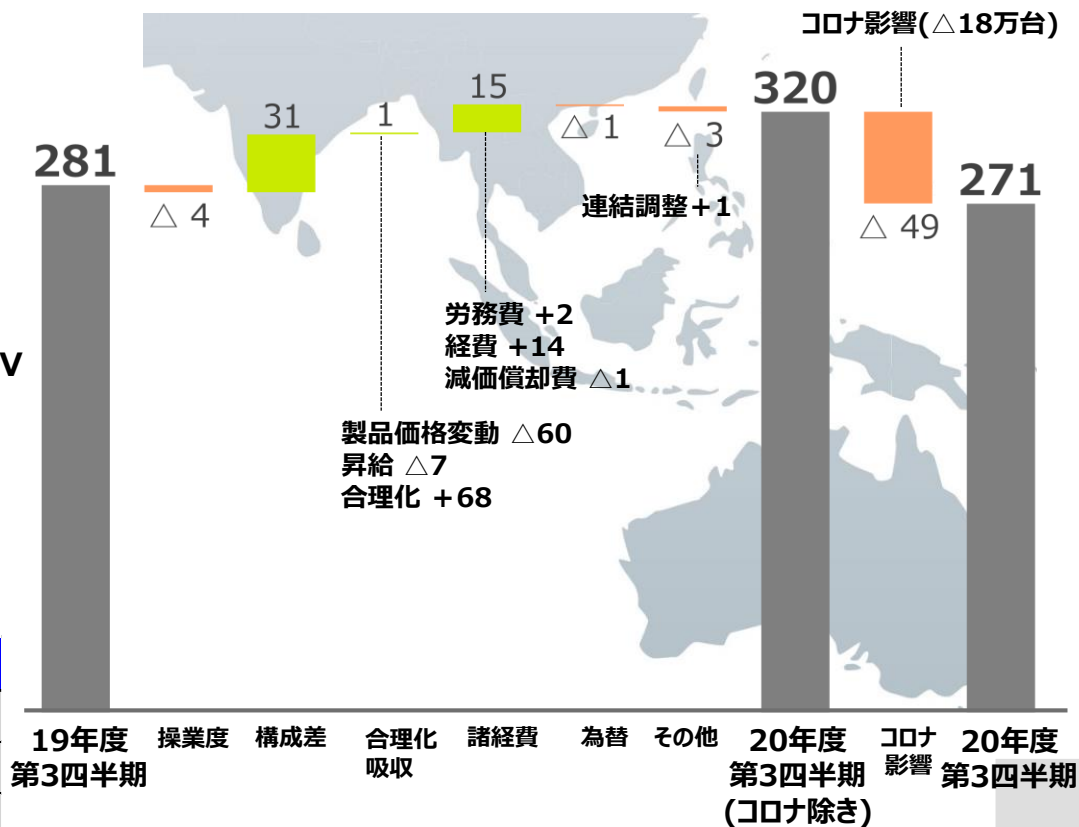
アセアン各国でのコロナ影響により減益ではあるものの、中国での新製品効果や諸経費の効率化などによりコロナ除きでは増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



当期の経営成績

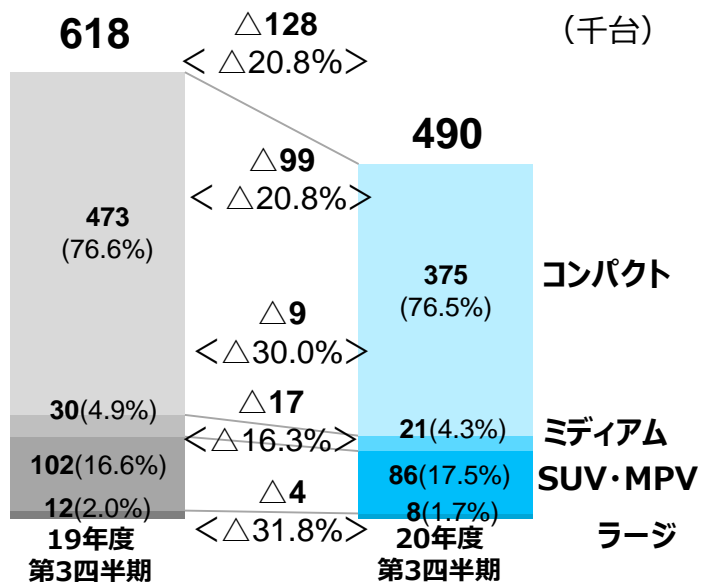
(億円)

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	2,695	2,387	△308
営業利益	281	271	△9
営業利益率	10.4%	11.4%	-

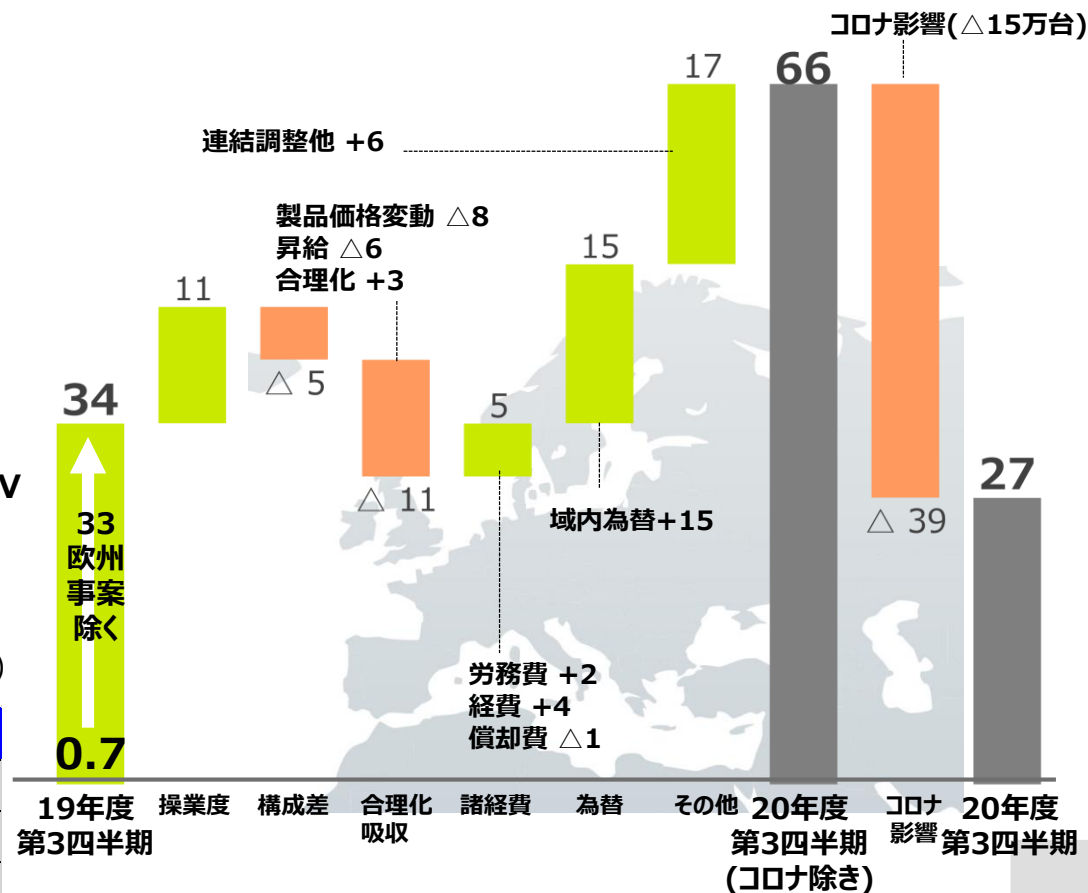
1-3) 2020年度第3四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や為替影響などによりコロナ除きでは増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比) (億円)



当期の経営成績

	19年度3Q	20年度3Q	増減
売上収益	661	570	△ 90
営業利益	0.7	27	26
営業利益率	0.1%	4.8%	-

目次

1. 2020年度第3四半期 決算状況

2. 2020年度通期 業績予想

3. 参考情報

2-1) 2020年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	19年度 通期実績		20年度 通期予想		増減		20年度通期予想 (2Q公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	13,726	100.0%	12,800	100.0%	△926	△6.7%	12,400	100.0%
営業利益	477	3.5%	470	3.7%	△7	△1.6%	360	2.9%
税引前利益	480	3.5%	460	3.6%	△20	△4.3%	350	2.8%
当期利益*	247	1.8%	210	1.6%	△37	△15.3%	140	1.1%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益	132円88銭	112円40銭	△20円48銭	74円93銭	
為替レート	USドル	109円	105円	△4円	106円
	1-0	121円	123円	+2円	121円

売上収益

- 主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減産影響により減収ではあるものの、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

営業利益

- 下期は需要回復や全社を挙げた合理化、諸経費の効率化などにより増益となる見込みであり、通期では、ほぼ前期並みの利益を確保

2-2) 2020年度通期 業績予想 前提条件について

生産台数

トヨタ・レクサスブランド 830万台
※第2四半期時点 820万台

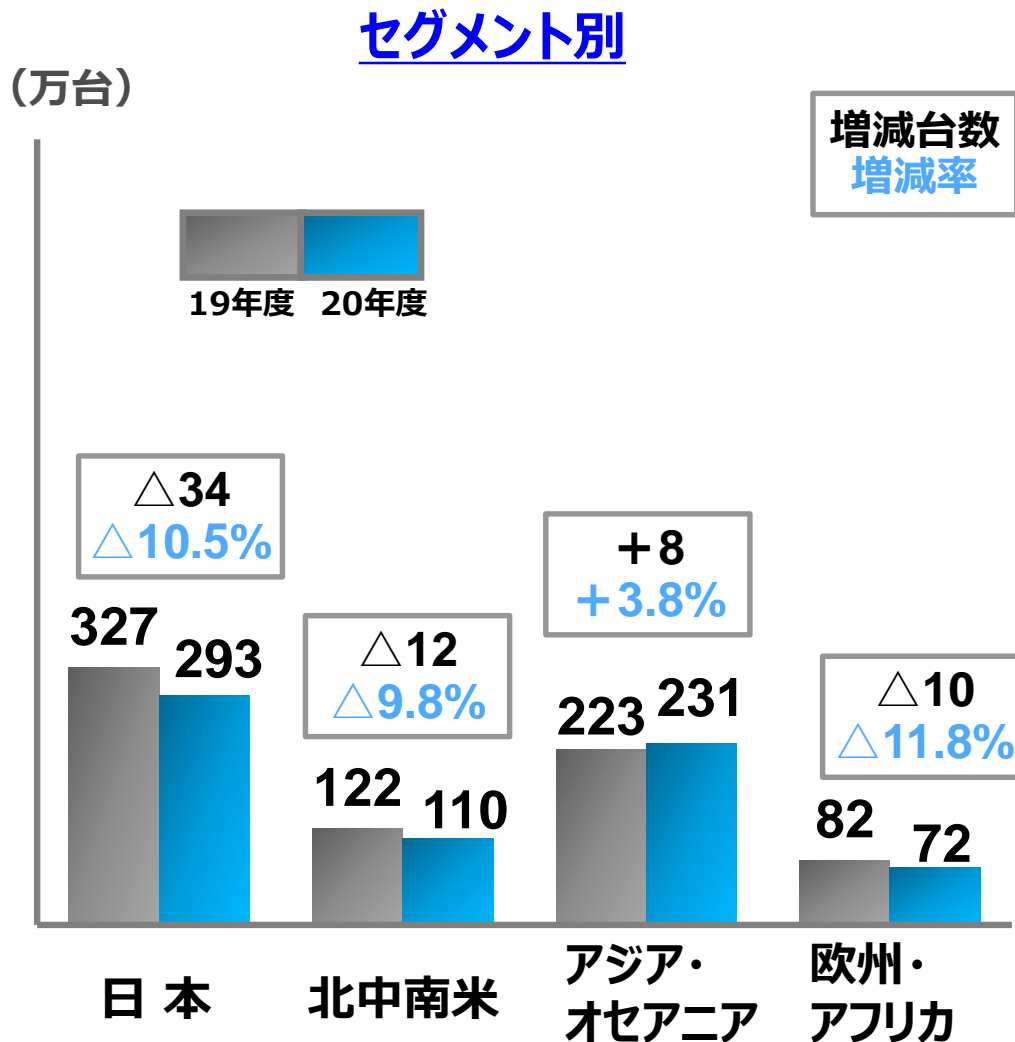
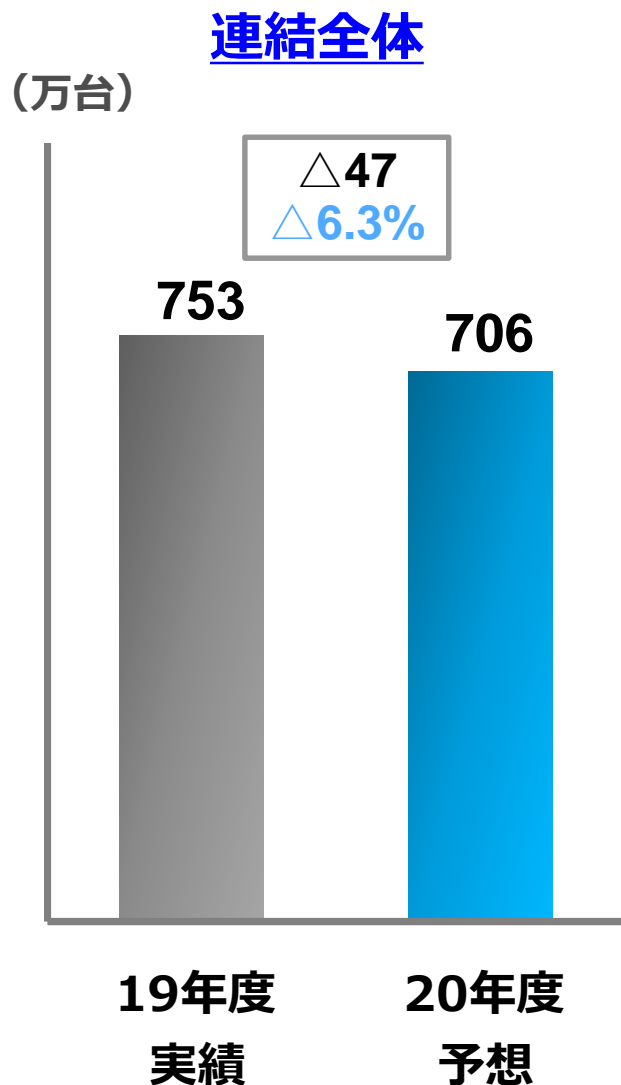
リスク

新型コロナウイルス・半導体不足による
リスク等を織り込み

為替レート
(1-3月)

USドル : 100円
ユーロ : 125円

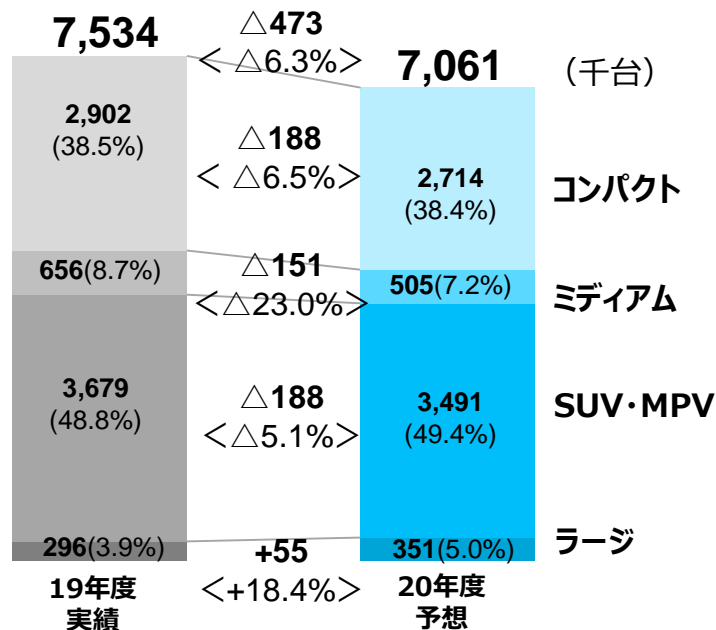
2-3) 2020年度通期 業績予想 地域別シート生産台数



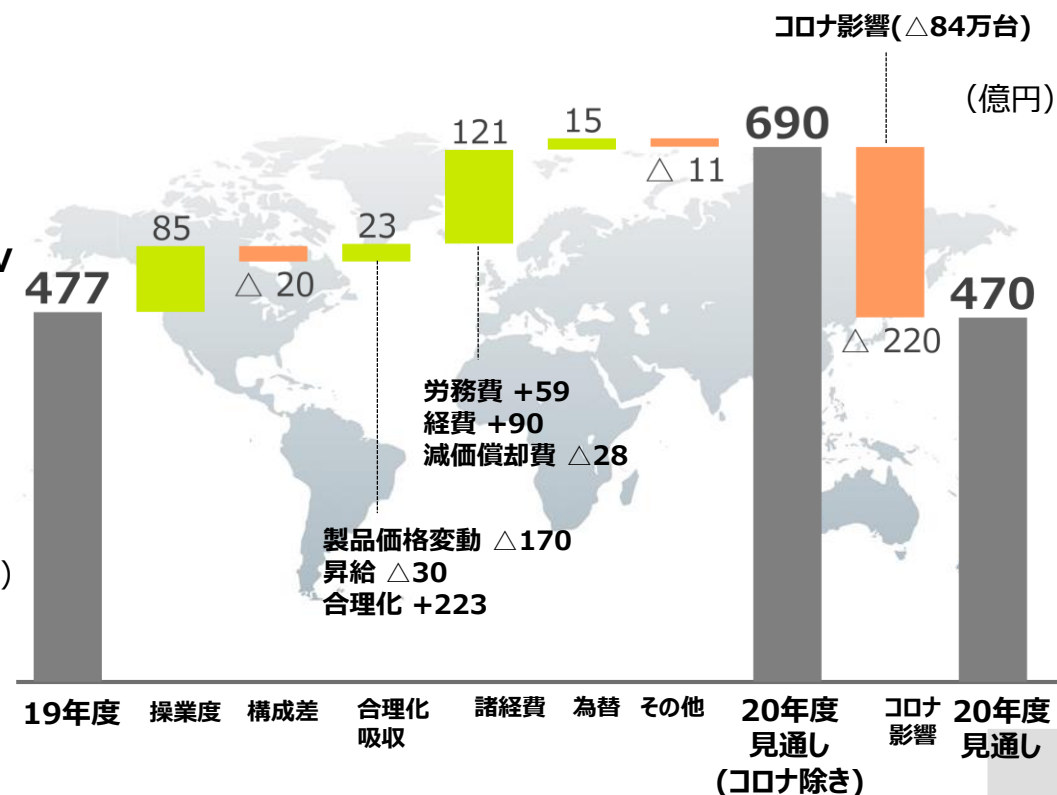
2-4) 2020年度通期 業績予想 連結 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益はあるものの、
全社を挙げた合理化や諸経費の効率化などにより、ほぼ前年並みとなる見込み

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	13,726	12,800	△926
営業利益	477	470	△7
営業利益率	3.5%	3.7%	-

2-5) 2020年度通期 業績予想 第2四半期 公表値との差異

日本及びアジア・オセアニア地域での需要回復や、合理化・諸経費の効率化など更なる収益向上策を織り込み、通期業績予想を上方修正

台数・車種構成の変化

2Q公表時	差異	3Q公表時	車種
6,937	+124 <+1.8%>	7,061	(千台)
2,703 (39.0%)	+11 <+0.4%>	2,714 (38.4%)	コンパクト
484(7.0%)	+21 <+4.4%>	505(7.2%)	ミディアム
3,403 (49.1%)	+88 <+2.6%>	3,491 (49.4%)	SUV・MPV
347(5.0%)	+3 <+1.0%>	351(5.0%)	ラージ

当期の経営成績

(億円)

	2Q公表時	3Q公表時	増減
売上収益	12,400	12,800	400
営業利益	360	470	110
営業利益率	2.9%	3.7%	-

営業利益の増減解析

(億円)

	2Q公表時	3Q公表時	差異	内容
19年度実績	477	477	-	
操業度	△224	△170	+54	・増産影響
構成差	△114	△75	+39	・効率的な増産対応 ・SUV比率増加 他
合理化吸収	74	79	+5	
諸経費	104	121	+17	・更なる効率化
為替	11	15	+4	
その他	32	23	△9	
20年度予想	360	470	110	

2-6) 2020年度通期 業績予想 (上・下別)

売上収益

(億円)

	2020年度		
	上期	下期	通期
日本	3,042	4,058	7,100
北中南米	989	1,511	2,500
アジア・オセアニア	1,449	1,751	3,200
欧州・アフリカ	319	481	800
連結全体	5,454	7,346	12,800

営業利益

(億円)

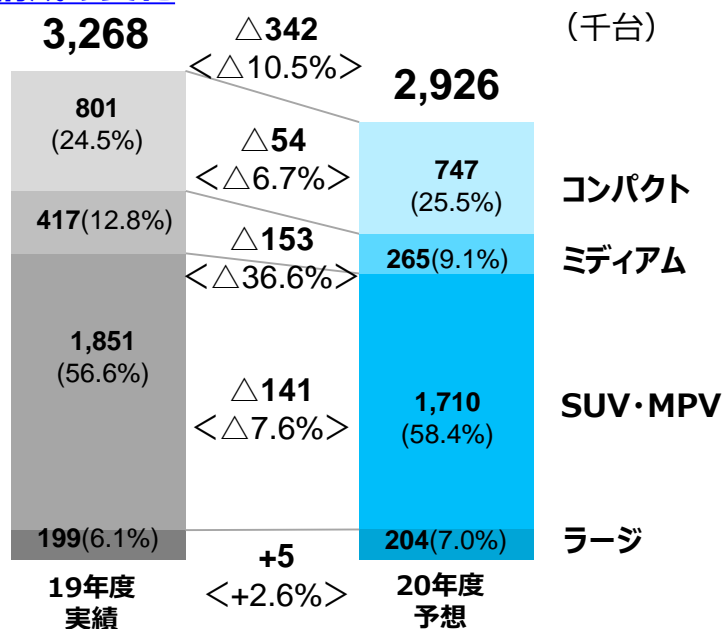
	2020年度					
	上期		下期		通期	
日本	△68	△2.3%	138	3.4%	70	1.0%
北中南米	△28	△2.9%	63	4.2%	35	1.4%
アジア・オセアニア	138	9.6%	182	10.4%	320	10.0%
欧州・アフリカ	△5	△1.7%	50	10.5%	45	5.6%
連結全体	36	0.7%	434	5.9%	470	3.7%

2-7) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

合理化や諸経費の効率化などによる増益要因はあるが、コロナ影響により減益の見込み

台数・車種構成の変化



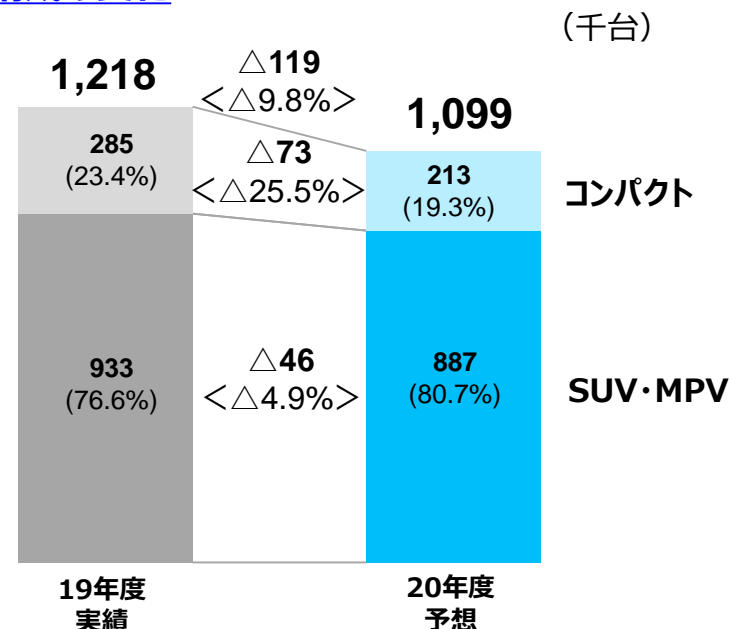
当期の経営成績

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	7,683	7,100	△583
営業利益	102	70	△32
営業利益率	1.3%	1.0%	-

北中南米

コロナ影響による減産影響はあるが、諸経費の効率化やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

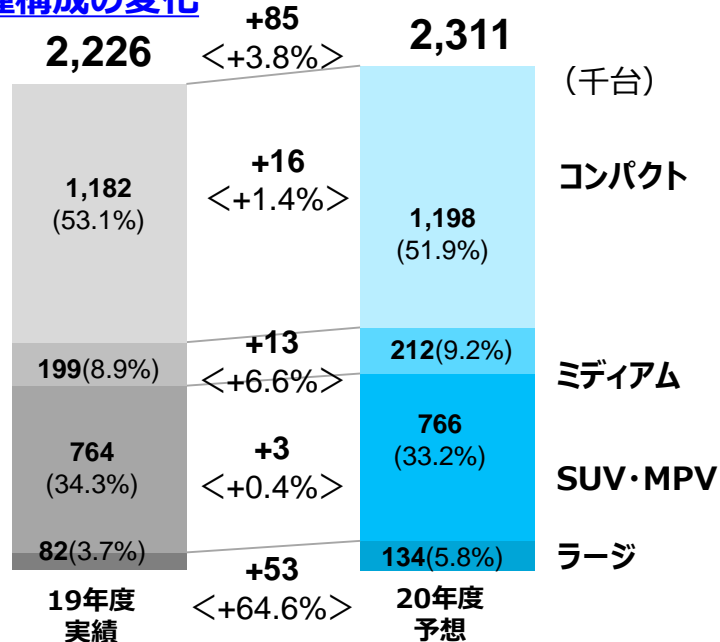
	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	2,729	2,500	△229
営業利益	8	35	26
営業利益率	0.3%	1.4%	-

2-7) 2020年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

アジア・オセアニア

中国での増産影響はあるが、アセアン各国でのコロナ影響などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

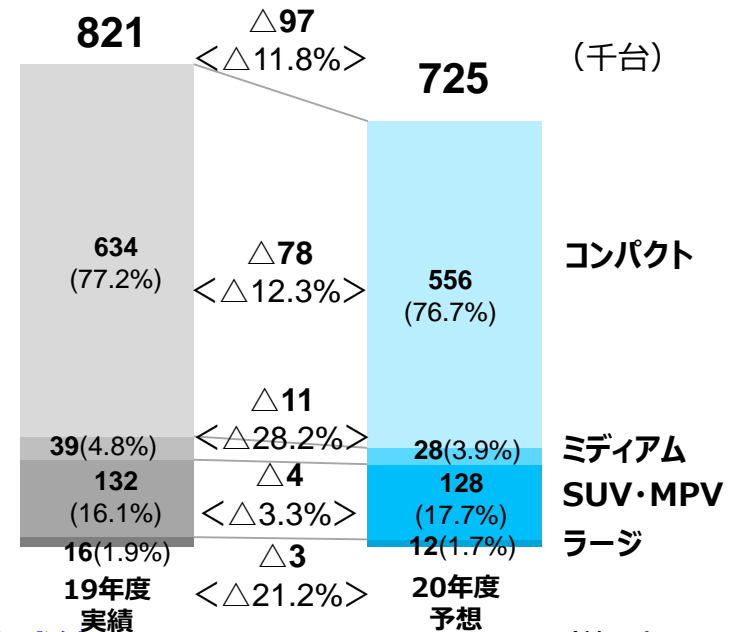
(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	3,338	3,200	△138
営業利益	336	320	△16
営業利益率	10.1%	10.0%	-

欧州・アフリカ

コロナ影響による減産影響はあるが、諸経費の効率化や、前期に一過性の損失があったことなどから、増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

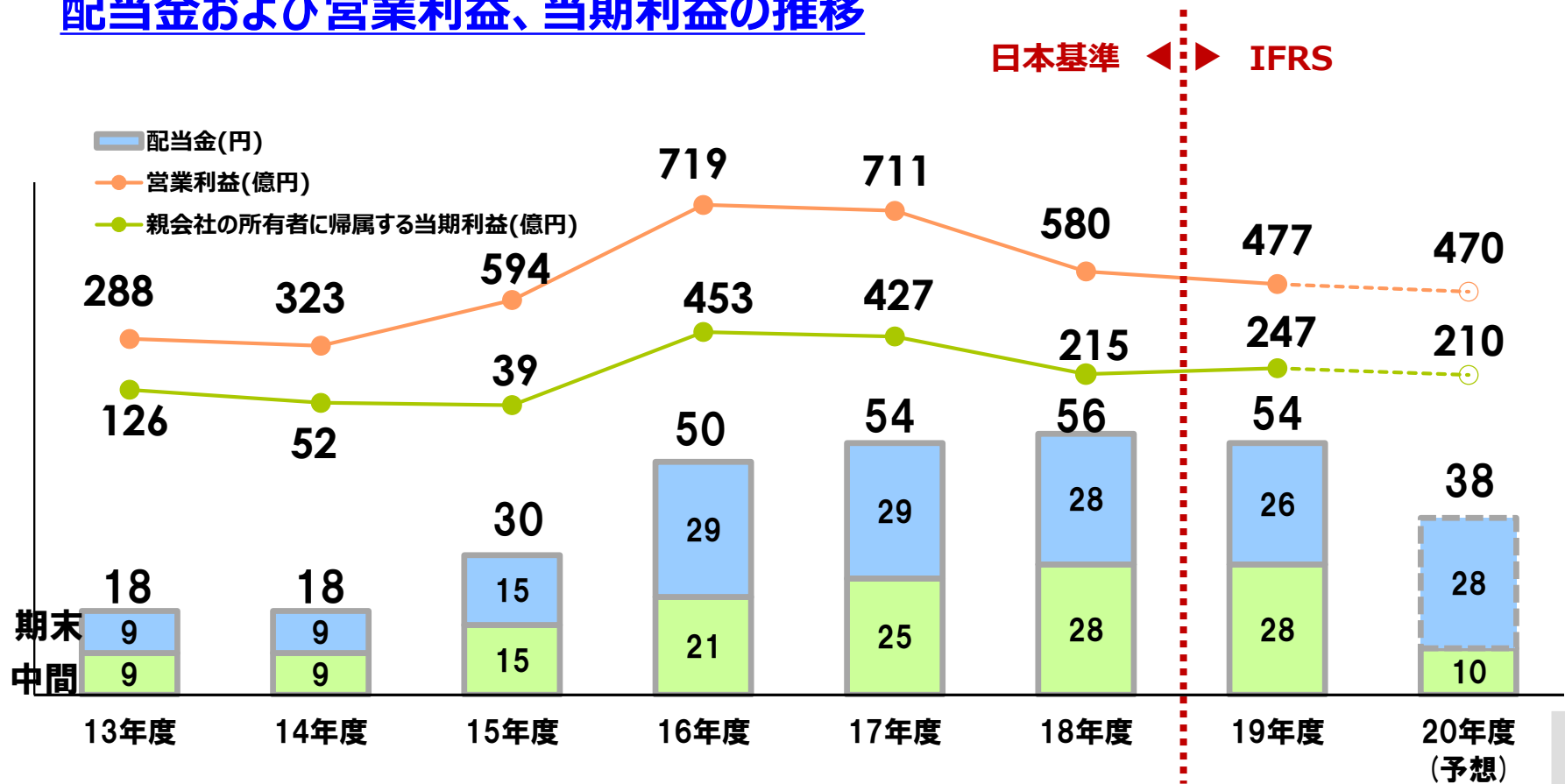
(億円)

	19年度実績	20年度予想	増減
売上収益	883	800	△83
営業利益	30	45	14
営業利益率	3.4%	5.6%	-

2-8) 2020年度 通期予想 株主還元

■ 期末は、長期安定的な配当を継続し(28円)、
連結業績などを総合的に勘案し決定

配当金および営業利益、当期利益の推移

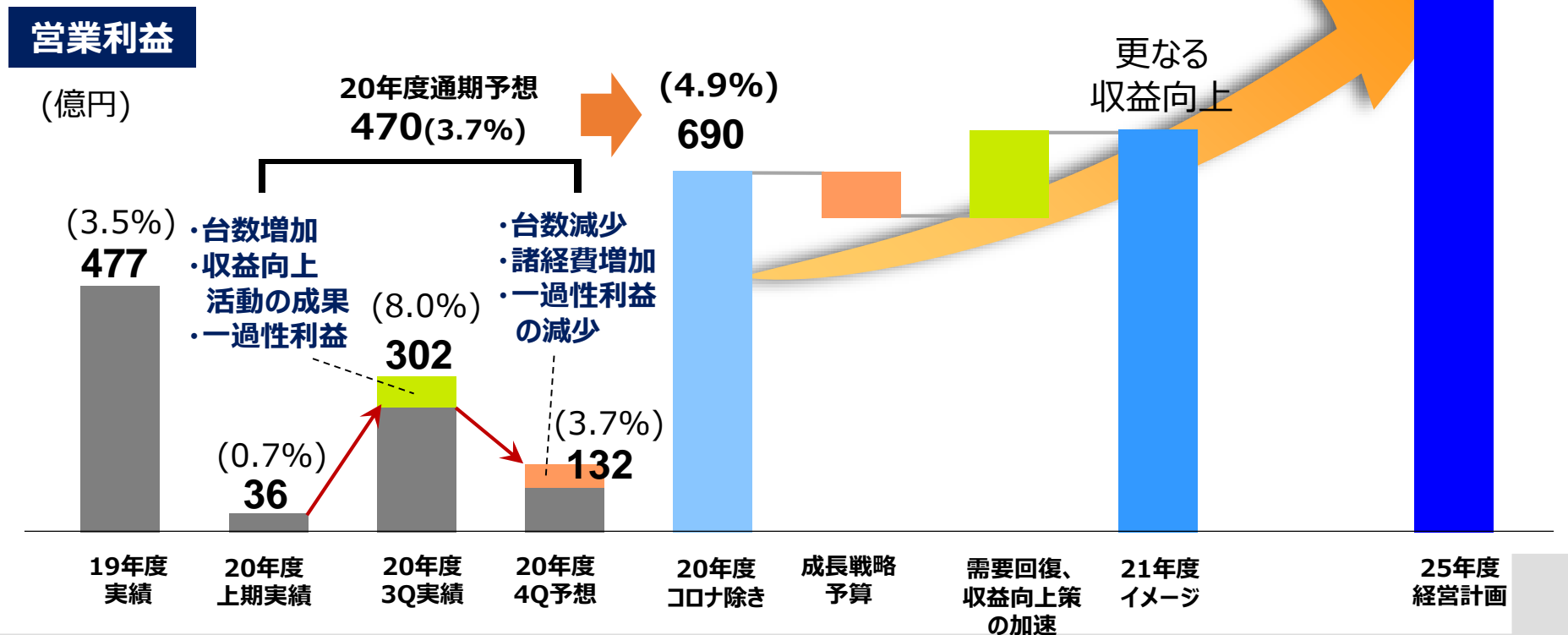


2-9) 2020年度 第3四半期決算 総括

【3Q実績】 諸経費の効率化に加え、日本・アジアなどでの挽回生産による台数増加を含めた一過性要因もあり、**四半期単位では過去最高の営業利益**

【通期予想】 収益向上策を継続することにより、**更に収益力を向上**

【21年度】 2025経営計画目標に向けた成長戦略予算を確保しつつ、**更なる収益向上を目指すシナリオに沿って進捗中**



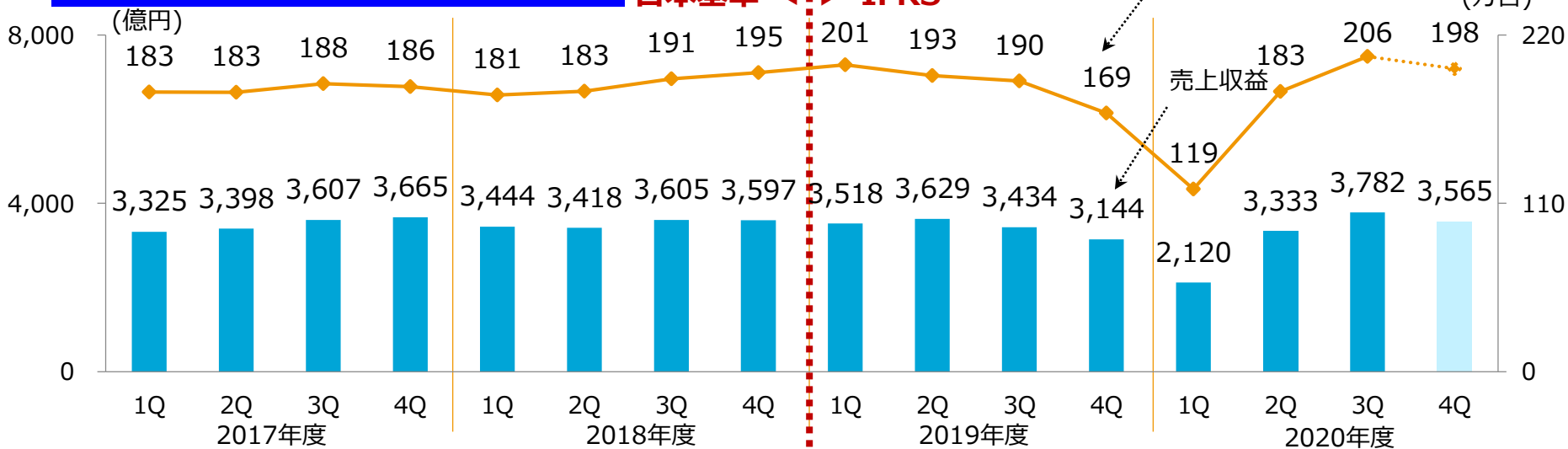
目次

1. 2020年度第3四半期 決算状況
2. 2020年度通期 業績予想
3. **参考情報**

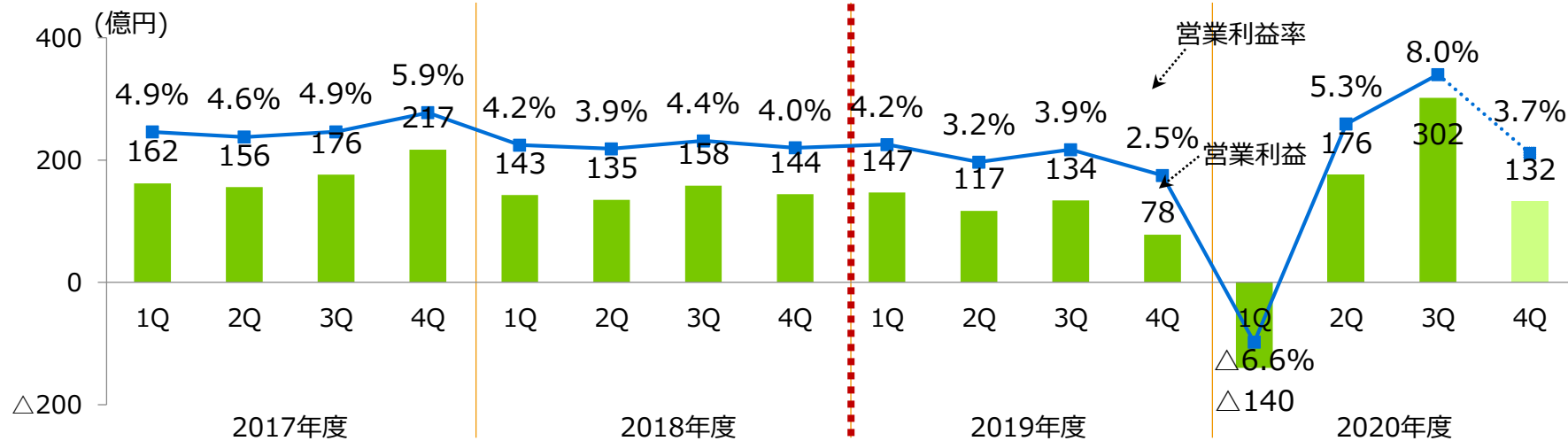
参考1) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

日本基準 ◀ ▶ IFRS

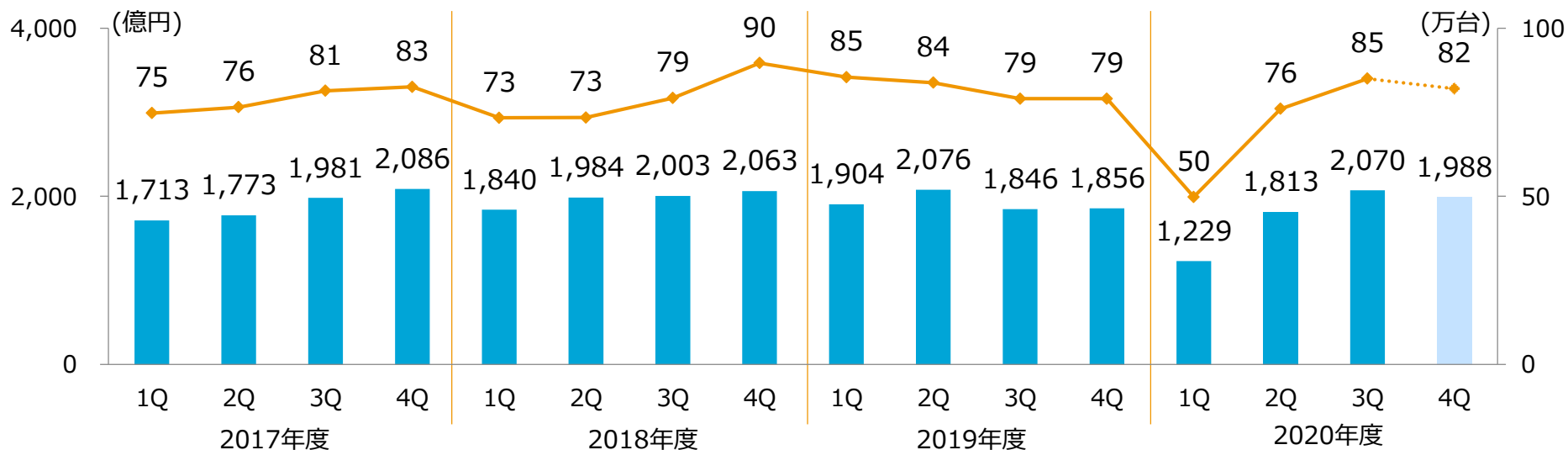


営業利益/営業利益率

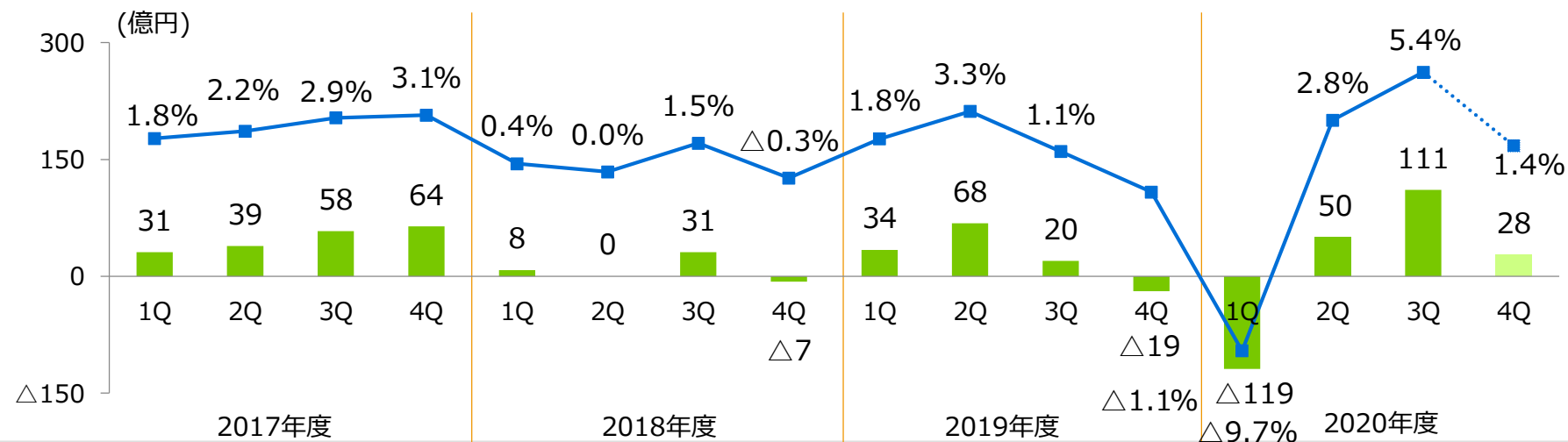


参考2) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

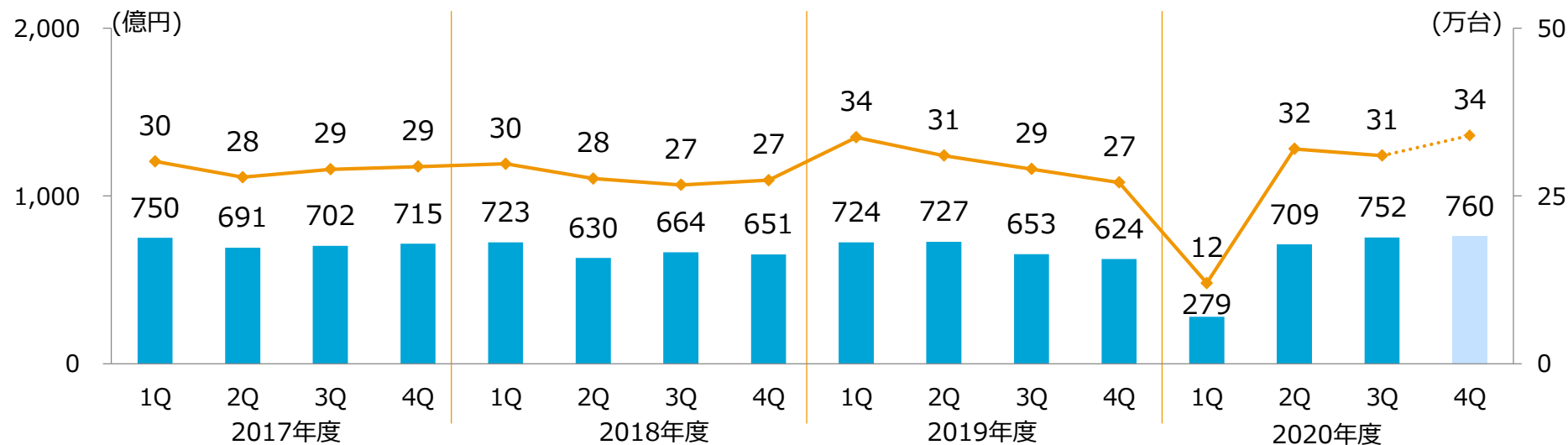


営業利益/営業利益率

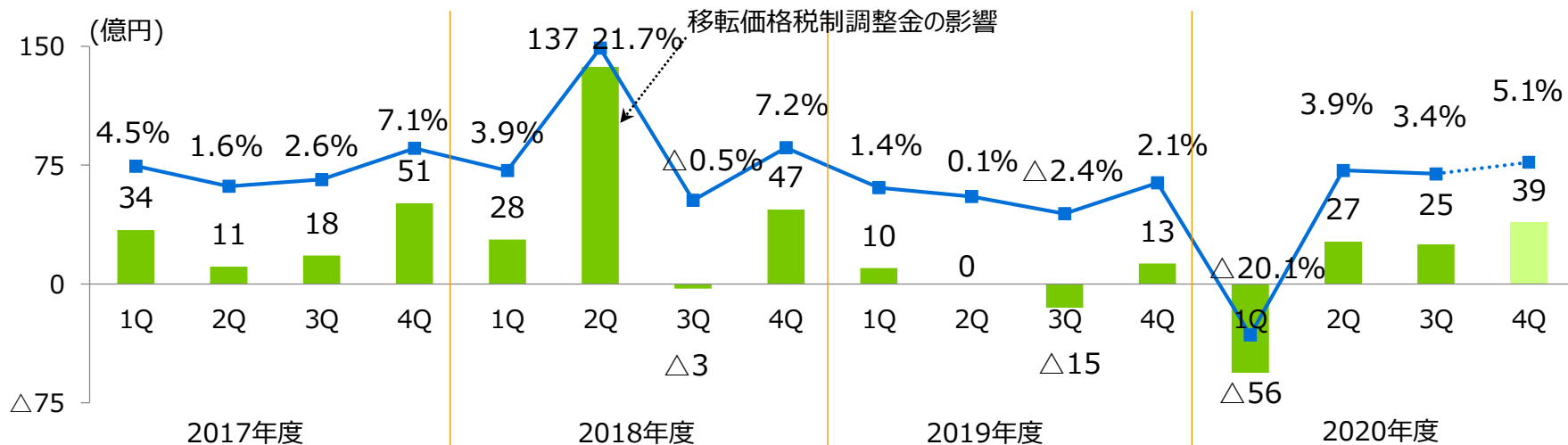


参考3) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

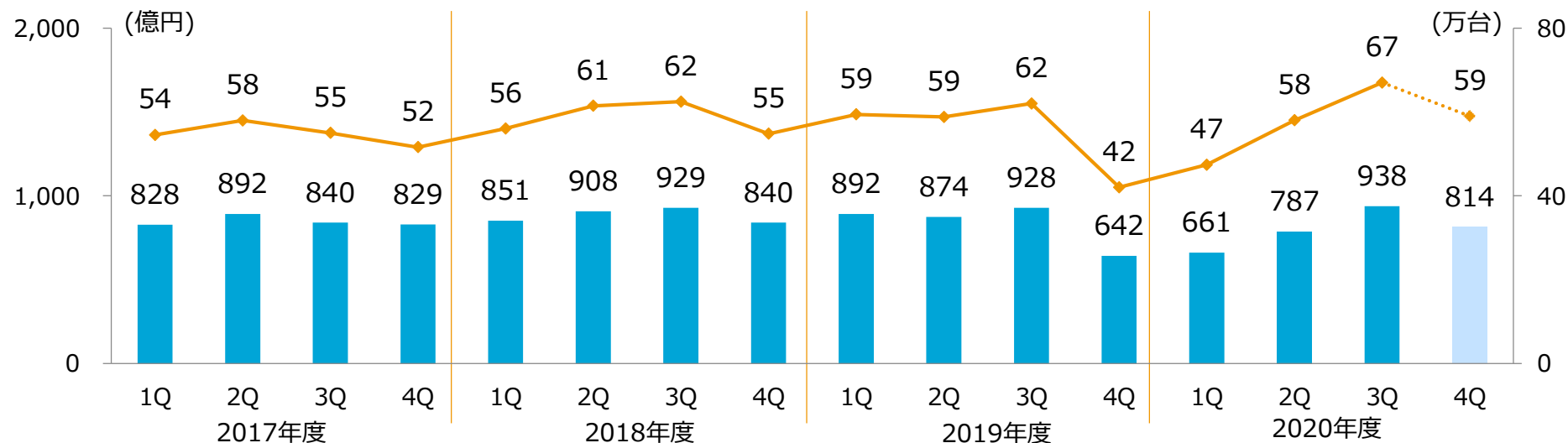


営業利益/営業利益率

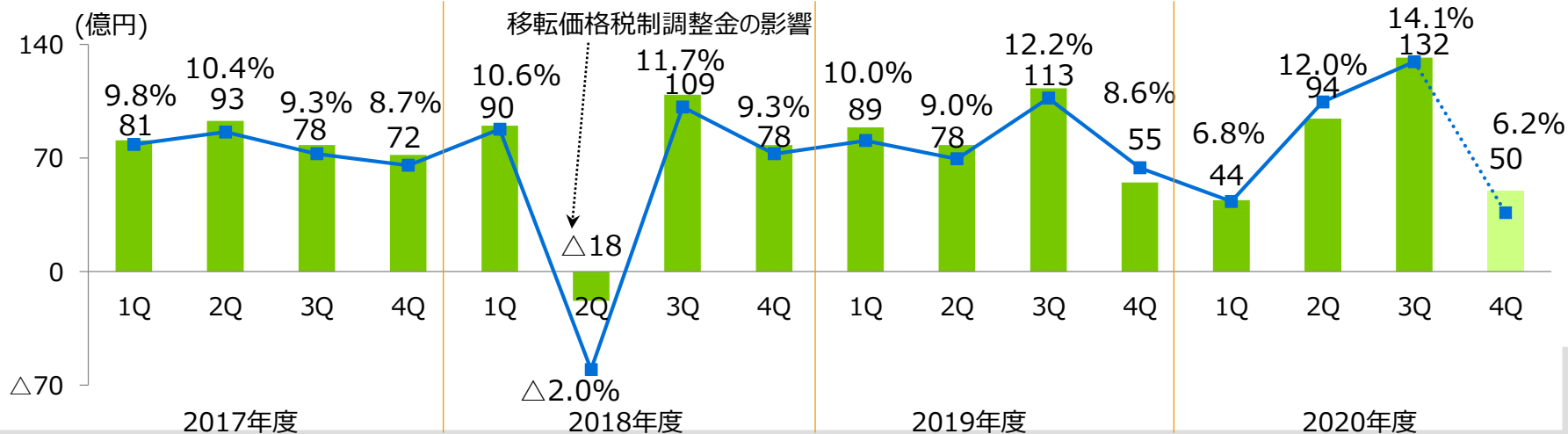


参考4) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

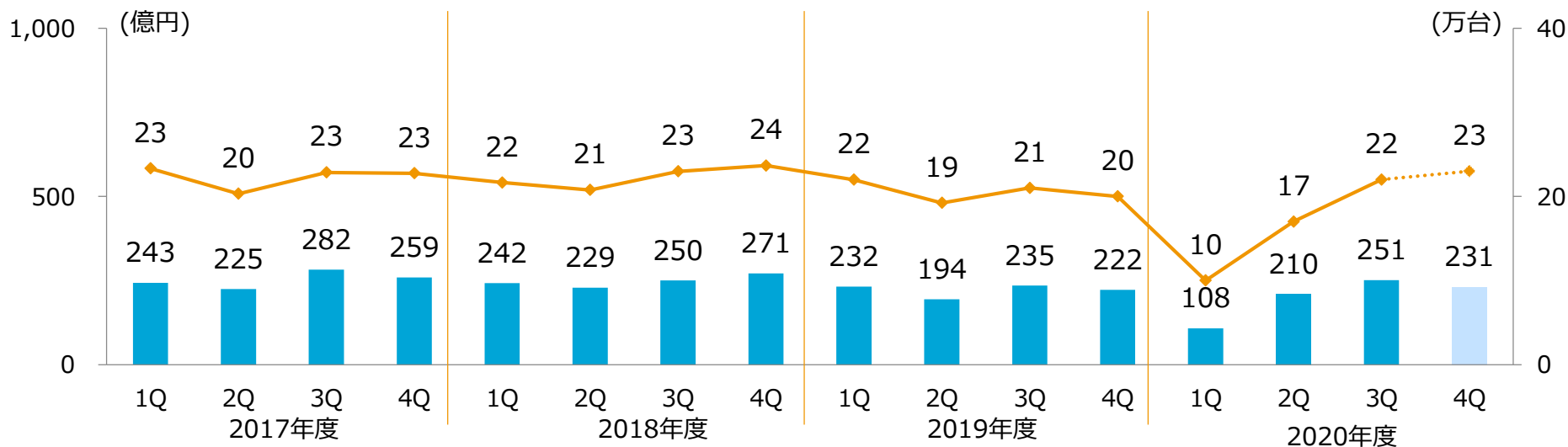


営業利益/営業利益率

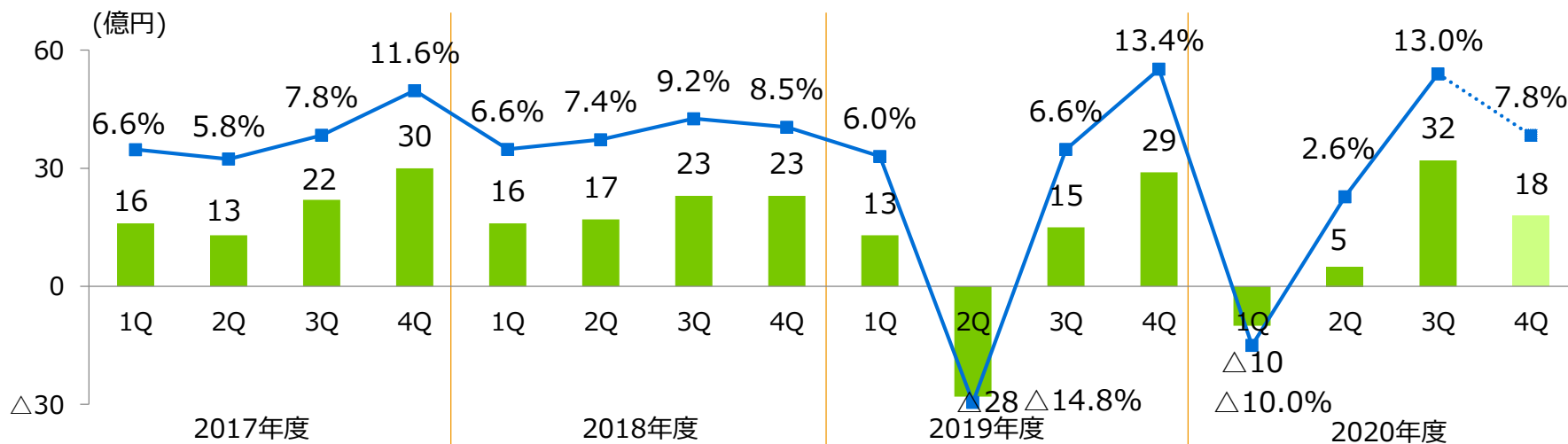


参考5) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。